

人権学習展開例

主 題 名 エイズ患者/HIV感染者の人権問題について

教 材 名 打ち明けてくれてありがとうー孤独と絶望からの生還ー

人権学習の視点 個別的な視点「患者等の人権問題」

主題・教材について

エイズ患者やHIV感染者に対しては、正しい知識や理解の不足から、これまで多くの偏見や差別意識を生んできたが、そのことが原因となって、医療現場における診療拒否や無断検診のほか、就職拒否や職場解雇、アパートへの入居拒否・立ち退き要求、公衆浴場への入場拒否など、社会生活の様々な場面で人権問題となって現れてきた。しかし、HIV感染症は、その感染経路が特定している上、感染力もそれほど強いものでないことから、正しい知識に基づいて通常の日常生活を送る限り、いたずらに感染を恐れる必要はなく、また、新しい治療薬の開発等によってエイズを発症せずに生活できる可能性も高まっている。

感染者の手記を通してその思いに共感するとともに、エイズ患者・HIV感染者についての正しい知識を身に付け、エイズ患者・HIV感染者に対する偏見や差別をなくし、ともに生きる社会を築こうとする態度を養いたい。

ね ら い

エイズ患者・HIV感染者についての正しい知識を身に付け、エイズ患者やHIV感染者に対する偏見や差別をなくし、ともに生きる社会を築こうとする態度を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。		
展 開	「打ち明けてくれてありがとう」を読み、考えたことを話し合ってみよう				生徒資料「打ち明けてくれてありがとう」
	○「打ち明けて…」を読み、筆者の生き方について考えたことを発表交流させる。		○「打ち明けて…」を読み、筆者の生き方について考えたことを発表する。	○1989年の手記であることを確認する。	
	「エイズ」「HIV」について理解し、偏見や差別がなぜ生まれたか考えよう				
	○「打ち明けて…」本文の②で、筆者はなぜ「人に打ち明けることができなかったのか」考えさせ発表させる。	一斉	○「打ち明けて…」本文の②で、筆者はなぜ「人に打ち明けることができなかったのか」考え、発表する。	○社会の無理解、他人事、憐れみ、会社を解雇されるかも、など	
○エイズについての理解を深めさせる。	一斉	○エイズについての理解を深める。	○感染経路が特定されており、①②③以外の感染経路では、感染しないことをおさえる。	生徒資料「エイズ」「HIV」って何？ エイズ・HIV関連年表 ワークシート 項目1	
○歴史的背景を知り、偏見・差別が、なぜ生まれたか考えさせ発表させる。	一斉	○歴史的背景を知り、偏見・差別が、なぜ生まれたか考え交流する。	○未知の感染症に対する理解不足や人権尊重の意識のなさが、偏見・差別を生むことをおさえる。 【無知→偏見→マスキ等による助長→差別】、【法律の改正の意味】		
「打ち明けてくれてありがとう」の筆者が生きている実感を持てるようになったのはなぜか、考え話し合ってみよう					
○「打ち明けて…」本文の③、④から、筆者が生きている実感を持てるようになったのはなぜか、考え、発表させる。		○筆者が生きている実感を持てるようになったのはなぜか、考え、交流する。	○HIV感染者の不安や孤独、絶望感に目を向けさせ、それを救ったのが社会や周りの理解であることをおさえる。 ○心から信頼し、支えてくれる人が必要で、そのかわりが、生きていることの実感につながることに気付かせる。	生徒資料「打ち明けてくれてありがとう」 ワークシート 項目2	
おま け	ともに生きる社会を築くためにできることを考えよう				
	○共生社会の実現のために、自分たちができることを考えさせ、学習のまとめをする。	個別 一斉	○共生社会の在り方について考え、意見交流する。	○感染症に対する偏見や差別をなくし、ともに生きる社会を築くためには、「知識を持つ」→「理解する」→「ともに生きるために行動する」というステップが必要であることをおさえる。	ワークシート 項目3

評 価

エイズ患者・HIV感染者についての正しい知識を身に付け、エイズ患者やHIV感染者に対する偏見や差別をなくし、ともに生きる社会を築こうとする態度を養うことができたか。